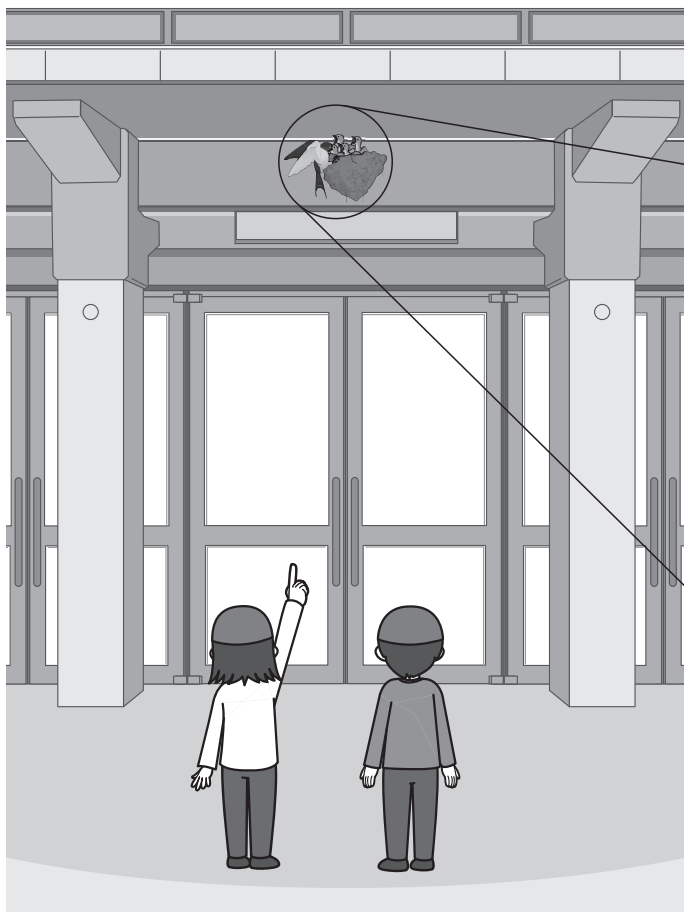


1

りか子さんたちは、学校のげんかんの上のかべに、ひなのいる鳥の巣を見つけ、ひなのようすをくわしく観察することにしました。



親鳥の子育てのじゃまにならないようにして、安全に気をつけて観察しよう。



りか子さん

(1) 親鳥の子育てのじゃまをせずに、安全に気をつけてひなのようすを観察できる方法はどれですか。下の **1** から **4** までの中から適切なものを **2つ** 選んで、その番号を書きましょう。

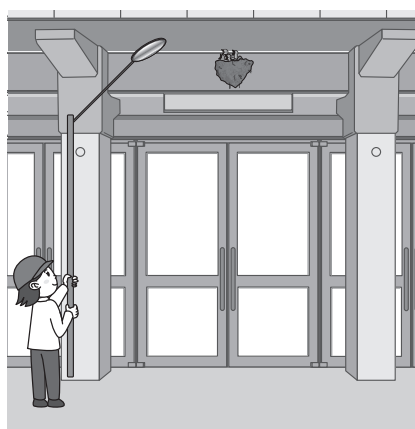
1

はしごを使って高いところに登り、観察する。



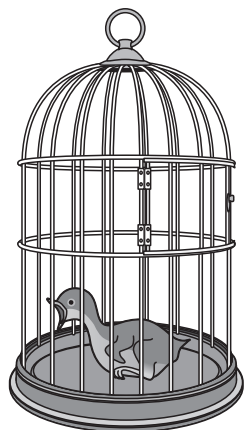
2

ぼう
棒の先に鏡を取りつけて、親鳥がいないときに鏡を巣に近づけて観察する。



3

ひなを鳥かごに入れ、教室で飼育しながら観察する。



4

ビデオカメラで、はなれたところからひなのようすを記録し、あとから再生して観察する。



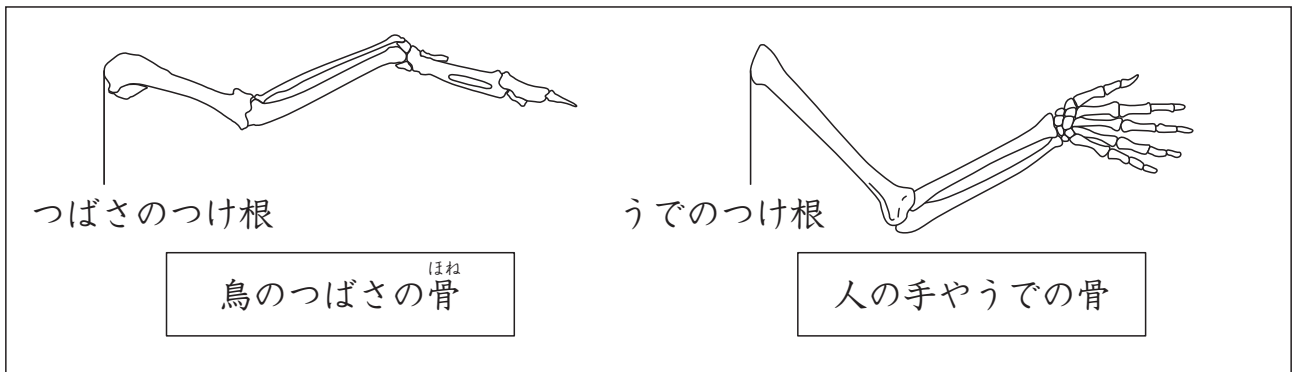
たかしさんは、ひながつばさを動かしているを見つけました。



鳥のつばさと人の手やうでのつくりで、
似ているところはあるかな？

そこで、たかしさんは、鳥のつばさと人の手やうでのつくりについて
本で調べ、下のようにまとめました。

【本に書かれていた内容】



【たかしさんのまとめ】

<鳥のつばさと人の手やうでのつくり>

同じところ

- つばさやうでのつけ根からのびる骨^{ほね}は1本で、その骨から2本の骨がつながっている。
- 鳥のつばさにも人のうでも、つばさを折りたたんだりうでを曲げたりすることができる骨と骨のつなぎ目がある。

ちがうところ

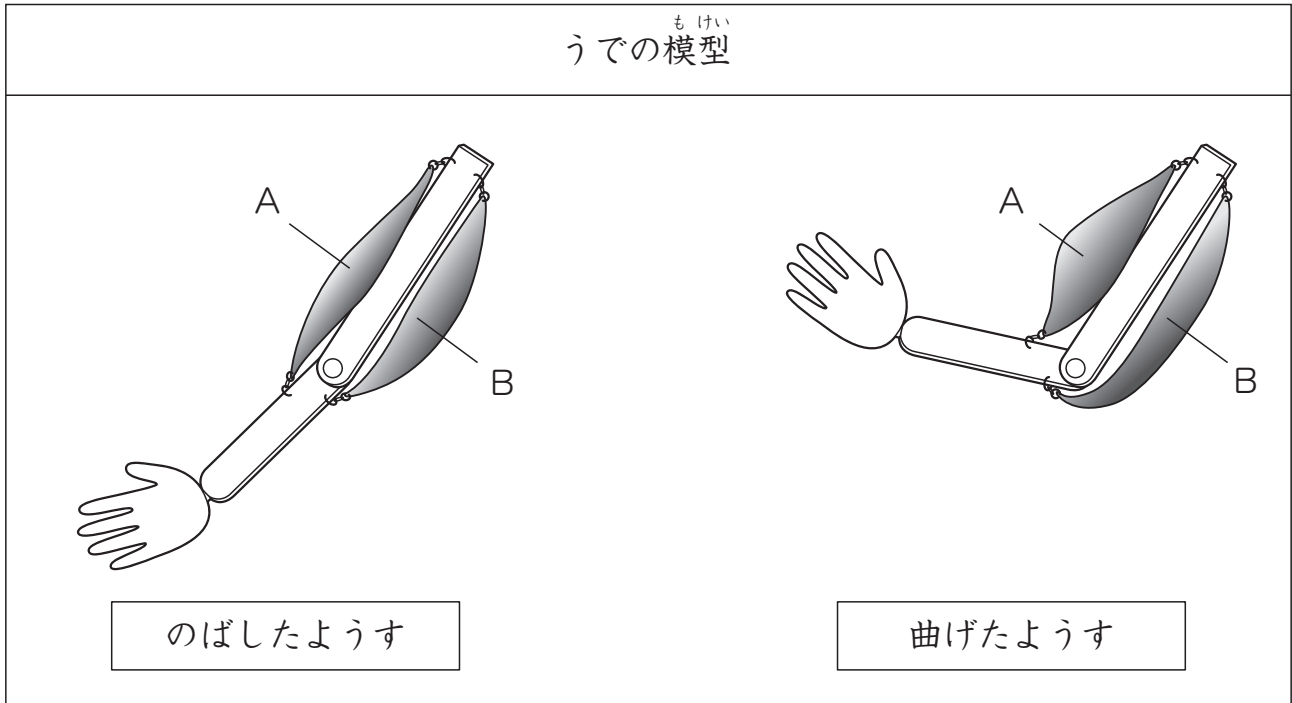
- 骨の数は、鳥より人のほうが多い。
- 骨と骨のつなぎ目の数は、鳥より人のほうが多い。

(2) 前のページの【たかしさんのまとめ】は、鳥のつばさと人の手やうでの
つくりについて、どのようなことを比べてまとめたものですか。下の **1**
から **5** までの中から**2つ**選んで、その番号を書きましょう。

- 1** ^{ほね}骨のかたさ
- 2** 骨の長さ
- 3** 骨の数
- 4** つばさやうでが曲がる方向
- 5** 骨と骨のつなぎ目

(3) 前のページの【たかしさんのまとめ】に書かれている「うでを曲げたり
することができる骨と骨のつなぎ目」のことを何といいますか。
そのことばを書きましょう。

たかしさんは、下の図のようなうでの模型を使って、うでが曲がるしくみを説明することにしました。



(4) このうでの模型を使うと、うでが曲がるしくみのどのようなことを説明することができますか。下の **1** から **4** までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1** うでは、3本の骨^{ほね}があって、うでをひねったり、曲げたりすること。
- 2** Aの筋肉^{きんにく}が縮み^{ちぢ}、骨と骨のつなぎ目でうでを曲げること。
- 3** AとBの筋肉が同時に縮み、骨と骨のつなぎ目でうでを曲げること。
- 4** Bの筋肉が縮み、骨と骨のつなぎ目でうでを曲げること。